

児童教育学科

児童教育学科教員が毎回自分の専門に基づいてコラム等をお届けします

山口祐子（教授）

専門は「教職実践研究」。大学では「学校経営論」「学校体験活動」などの授業を担当

皆さんの中で、将来教員になって、子どもたちの育ちを援助したいと思っている方はいますか？私は、令和3年の3月まで40年近く、小学校の教員でした。最後の7年間は校長を経験しましたので、大学では「学校経営論」・「学校体験活動」・「総合的な学習の時間の指導法」等を教えています。

担当している科目の中から、2つの授業を紹介します。

まず、「学校体験活動」では、我孫子市内の小学校に参観に行ったり、公民館で学習支援を行ったりと、3年生の教育実習につながる活動に計画的・継続的に取り組んでいます。

次に、「総合的な学習の時間の指導法」です。授業では、児童が様々な課題を発見し、その課題に積極的に向き合い、他者と協働して解決していく力を育成するために、教員に必要な指導方法を学びます。学生は、講義で学んだことを活かし、3～4人グループで追究課題を設定し、発表します。どの科目も、私の教員・学校長としての経験を活用し、実践に結びつくように、役立つ講義を心がけています。

【2年生 学校体験活動】



【3年生 総合的な学習の時間の指導法】

